

1. 件名：  
MHI 原子力研究開発株式会社の防災訓練実施結果報告書（案）の説明について
2. 日時：  
令和4年1月17日（月）15時00分～16時00分
3. 場所：  
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：  
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所  
関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官  
MHI 原子力研究開発株式会社  
技師長、部長代理
5. 要旨  
MHI 原子力研究開発株式会社より、防災訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。  
主な内容は、以下のとおり。
  - (1) 訓練実施日  
令和3年10月19日（火）午後
  - (2) 想定した原子力災害の概要  
地震発生後、燃料プール内の燃料集合体をラックに戻す作業中に燃料集合体が落下し、破損、放射性ガスが放出され、施設敷地緊急事態（SE）及び全面緊急事態（GE）にいたる原子力災害
  - (3) 主な訓練成果
    - ・ERC プラント班長との間で、電話、FAX 及び書画装置（画像情報）により、必要十分な情報伝達を実施できた。
    - ・特に、前年度から改善を図った事項（書画装置による放射線のモニタリンググラフの共有、及び優先度を考慮した報告順序）の有効性を確認できた。

原子力規制庁からは、今回の訓練で示された良好な防災活動本部、指揮所及び現場での事故対応の能力や体制を維持、継続するように助言した。
6. その他：  
配布資料なし。